

## 中之庄町住民2回目説明会会議録

平成27年10月25日 午後7時～8時20分 場所：

市側出席者：並河市長、川口特命参与、井上課長、山下係長

資料を市長が説明

和爾町：天理市のごみを処理するのは仕方ない。賛成、反対は別にして、他市のごみ、天理市より多くなるはずですね。それを持って来られるのは、気分としては良くないという事と、利害関係のある所、樺本校区ですね。それと他の地区の人と、市の予算は大事だという事は分かるが、それをどういうふうに良い意味の区別をさせていただけるのかをお聞きしたい。天理教の所、借り上げる訳ですね。

天理市：今、色々な方向性を検討しています。

和爾町：あその土地はそんなに高くないし、買った方がいいのではないか。長い目で見たら安く上がるのではないか。

天理市：広域化については、気分として良いものじゃないと、非常に苦慮する所です。是非ご理解頂きたいのが、今の暮らしがどうなっているか、下水はどこへ行っているかという、浄化センターに行っていて、天理市の中で全部賄っている訳ではないです。又、焼却炉で燃やした灰は、山添村と大阪湾の処分場に枠を持っていて運んでいます。山添村の皆さんにとっては、先祖から引き継いだ大切な山で、大阪の皆さんにとっては、漁師さんの大切な海である訳です。そこが天理の灰を持って来るなんて、けったくそ悪いとなると、私達の暮らしが成り立たない訳で、市町村の枠はあるが、そこで全て完結できず、支え合う中で暮らしが成り立っているという事をご理解頂きたい。その上で、広域化する事により予算が助かって来る。それを地元振興に役立てて行きたい。A市、B町、C町とかこういった所は自分達の予算も出すと言っています。天理市だけの責任で地元振興するのではなく、事務組合全体の責任として、地域振興を考えて行きます。今の時点で、何年間の内、何億の予算をつけろという事は、各市町村との調整もあるが、規模等これから作っていき、第一に方向性を知事と各首長との会議で確認をしたところ。この農免道路から名阪の陸橋の辺りは、市内でも相当道路整備されている所です。かつて100年祭等の時、本部が陸橋等掛けられた要素は大きいです。そもそも、あれ程大きい道路に陸橋が走っているというのはあり得ないような事で、インフラというのは維持管理をしていかないといけない。今後日本にとって重要になってくるのは、今あるインフラをどう維持管理するのが課題になってくる時に、今の交通量で比べると、過度なくらい整備されている状況です。個々が奈良県の10個の市町村にとって命に係わる一番大事な施設が来るとなると、維持管理の仕方から、重要性が全く違ってくる。むしろ行政目線だが、政略的な価値というのは、圧倒的に高まって来ると考えています。今後町の役員の皆様方が11月1日に川西の施設に行って頂くという事で説明しましたが、岩屋の皆さんが行かれた時も、ここは人で大賑わいでした。今のクリーンセンターに土、日に来られる方はごみを捨てに来る人しかいないと思います。あそこにピクニックに人は、まず考えられない。ところが川西市の施設の方は、施設の中に天然芝のグラウンドがあり、公民館のようになっていて、中で木工の作業が出来る、色々な施設があるので、今までに2回行ったが色々な教室を開いているとか、川西市長杯というサッカーの試合をやっていて、夏休みの宿題で子供がいっぱいでした。11月1日は初め断られましたが、何故か、地元のお祭りをこの中でやっているから人がいっぱい余裕が無い。逆に我々としては、そこを見せて頂きたい、向こうに説明してもらわなく

でもいいので、本当に嫌われる施設で、あんな所近寄りたくもないと皆さんが思われている施設かどうか、親子連れが来ているというのは、今の施設から想像がつかないが、そういった点を見て頂く、又お湯が出るので、郡山市は温水プールを造っているが、今後地域の皆さん方の要望を伺って、温浴施設や、皆が気軽に集まれる場所がいいのか、運動出来る場所という意見を聞き、ただ我慢して下さいだけでなく、プラスになる要素を入れ込んで行きたい。今、樺本公民館も建替えをさせて頂いておりますが、他の点についてもこれからやっていきたい。これが出来るのは、広域で予算を効率化する部分があるから出来るので、今回の新設が出来ないとか、無駄金を使うとしても、一時凌ぎの修理をして、又、小さい形で新設をするとなると、今の話は全て絵に描いた餅になってしまいます。子供医療費助成といった事も、福祉政策の充実も難しい訳です。私達の暮らし自体が助け合いの中にあるという事、広域化により、もたらされるメリットは大きいという事をご理解いただきたい。改めて市内の路線価を見せていただき、色んな事情があるので一概に比べられないが、井戸堂小学校の前に新興住宅がいっぱい建っていて、一番西で嘉幡の焼却場と1キロくらいしか離れておりません。道へ出ればクリーンセンターが直ぐに見える訳ですが、だからあそこの住宅は買わないという方、いるかもしれないが、あまりそういうような状況は見られませんし、今のクリーンセンターの周りが、今の樺本校区に比して、著しくその影響が見られるか、低いかというと、24号線、天理王寺線も走っている中で、相当高い部分もあります。周りのインフラであったり、相互関係の中で決まってくるので、それが来たら終わりだと思われる方もあるが、是非、実際の今の施設の周りと比較していただきたいという事です。

和爾町：今日の説明会、以前と違う所は、焼却場が1カ所で全部入るという話でした。今回、2カ所に分かれるという説明に来られていると思うが、先程の説明では、土地の面積とか一般的に考えると、不合理ではないかと思うが、土地の面積が狭いから、2カ所ですと、以前は全部1カ所ですという話だった。

天理市：棟としては分かれていて、敷地は隣接しているというのが前回の説明だったが、今回敷地としても隣接しているという事です。上の所は400t位のものは出来るが、焼却施設以上のものは、高台では出来ないという事です。ただ離れていたら運用出来ない施設かという、檀原市を見て参りますと、免許の書換えのすぐ近くにリサイクル施設があります。焼却場は山の方にあります。そもそもする中身が若干違う部分あります。元々は別ですので、距離が少し離れているくらいです。管理部分があるか、ないといけないとか、通勤の時に・・・。

和爾町：前回と違うのは、ここだけですか。

天理市：はい、そうです。そして、土地の借り上げですが、売買でもいいと地権者が仰れば、我々もその方向で行きたいと思いますが、地権者の意向という事なので、今後の交渉だと思っております。是非ご理解いただきたいのは、他の町でもご指摘があったが、色々噂や憶測飛び交う中、おまえは応援してもらったから、お金を回す為にしているんだろうと聞いていると言われる事もあるが、実際に買う、借りるにしても、公金なので1円たりとも議会の承認なく使う事は出来ず、説明するのに鑑定を取って、道路や位置関係でこの額と出て参ります。それを故意に引き上げるような事はとても無理な話です。概ね借りる場合で、年間1千万円前後というような形で、それが今後の交渉になってきます。

和爾町：それは、焼却場だけか。

天理市：はい、下の所も概ね同じような値段です。それを全部天理市が持つかというのと、事務組合で分担するという事により、天理市だけが土地に関するお金を被るというのではなく、建てる時と同様、ごみ量に応じた分担という事になる。もし買うとなると、消防署の事がそうだったが、底地は天理市で、それを事務組合に貸すという事になって、それが賃料として入ってくるわけです。

和爾町：最終の灰はどうなりますか。

天理市：天理が持っている処分場の山添と大阪湾のフェニックスの枠を持っている所へ持って行きます。奈良市の処分場の関係で、ご質問いただく事はありますが、何と言っても土に埋めるので、雨が降れば幾ら無害化されると言っても、そこを通過するという事になるが、今回の施設は、あくまで燃やすだけで、灰は他所へ持って行くという事です。

和爾町：施設を木で囲むという事は出来ないか。

天理市：それは、しっかりやっつけていこうと思っています。

和爾町：橿原市の火葬場、昆虫館辺り、公園になっている。ああいうふうな事を仰っていると思う。

天理市：敷地面積・・・。リサイクルは出来ます。高台部分も周りに木を植えると想定している。景観等を想定して、出来るだけ見えにくいようにしたいと思っている。景観等の影響を極力減らすように、どういった形のものにしていくか、どれくらいの木を植えるのかは、今後の4年間の影響評価の中で、重要な項目という事で考えております。

和爾町：場所が2カ所変わったという事で、地権者もまた変わってくると思うが、他の町の方から聞くが、下流の水とか、税が心配だと聞いている。中之庄として問題ないが、そういう事を十分していただければと思います。新聞に出ていたが、これの利益を医療関係とかに使うとか、地元振興に使うとか、そういう点、周りの方が納得できるような地元振興にさせていただいたらありがたいと思う。

天理市：色々な事例を見ていますが、何が一番喜んでいただけるのか、ご意見を伺いながらやっていきたいと思っています。その上で、電気、熱が作れるという事は大きなポイントです。その他の整備についても、地元校区、樫本、岩屋にご理解いただいて成り立っていくと、柳本、朝和の皆さんからすれば、予算が重点的に樫本に来るという事で、それはズルいと仰らないで下さいと、ここを皆様方にご理解をいただいて、天理の暮らしが成り立っていくんですと、はっきり申し上げた次第です。水については、治水関係、農業を中心に作物への影響等きちんと処理、調整池も造って行きたいと、下流の方でどうしても心配と仰る方については、視察に行っただきながら、空気、水についても、きちんと検査していき、公表させていただきたいと思っています。

和爾町：言葉では、環境と仰るのは良く分かるが、今までに事例が、ダイオキシンとか色々出てくると、はい、わかりましたと言うようでは・・・その辺、十分注意、配慮をお願いします。

和爾町：色々資料ありますが、ああいう施設とか環境汚染があったりしますが、どういうメーカーの焼却炉入れるかというのも非常に大事だし、良い所は高いと思うが、安物買いの銭失いにならないように、日本で言えば、・・・辺りがトップ走っているのかな。性能の高いメーカーであると同

時ね、メンテナンスの体制がきちりとおある所で、緊急の対応出来る所が必要だと思う。購入価格だけで判断するのではなく、色んな事含めた、しっかりした会社から機械を導入していくという事。水の問題、施設の中に貯水池を造られるのか。

天理市：調整池を造ります。水を一気に外に出さない、貯めて洪水を防ぐ為の溜池を造る。

和爾町：その部分だけではなくて、水質が悪化した場合の緊急避難的な、調整池を造るのか。

天理市：雨水以外は、中を循環させるか、下水に流すという施設で、その中で使っている水を、仮に排水管で川に流すとかになれば、物理的な影響というのはあるが、それは・・・となっている。外に出すのは雨水だけで、施設の中の水は循環させる。後は下水に放流しますので、基本的に水質が汚染されるというのではないという考えです。

和爾町：今仰っているのは、多分下水が何らかの理由で破損した場合、どこかで遮断しないといけない、そういう時の意味だと思います。

天理市：中のパイプ破損した場合、地下に貯めます。地下に汚水槽を造るので、そこに溜めます。コンクリートで全部覆われ、それが地面を伝って外へ漏れ出す事は無いという事です。焼却炉の購入の件では、広域化で潤沢にしっかり体制を組み、資金的にも重要な事だと思っています。検討委員会を、環境評価と一緒に作って行き、専門家も入って、どこの機種を選ぶのが一番いいか、どのくらいの性能を求めていくかを、これから4年間の内にやると、それを公表させていただいて、ようやく施工に入っていくという事です。進捗ある毎に説明会か紙の形でお配りする等の方法で、情報をお伝えさせて頂きたいと思っています。

以 上